

宮城県感染症発生動向調査情報(第13週)

宮城県【平成27年04月02日】発行

宮城県保健環境センター

— 2015. 3. 23 ~ 3. 29 ・ 第13週 —

TEL (022)257-7228

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							仙 台 市 患者数	宮 城 県 (含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第10週	第11週	第12週	第13週
水痘	1 0.20	5 0.50	1 0.20		5 1.67	3 0.60		16 0.62	31 0.53	534	レ→	○→	○→	○
流行性耳下腺炎								14 0.54	14 0.24	94	→	→	→	
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	35 7.00	22 2.20	30 6.00	20 10.00	24 8.00	43 8.60	9 4.50	149 5.73	332 5.72	7,581	◎→	◎→	◎→	◎
手足口病	12 2.40	6 0.60						9 0.35	27 0.47	143	→	→	→	○
伝染性紅斑	3 0.60	4 0.40	10 2.00		1 0.33	4 0.80	2 1.00	16 0.62	40 0.69	683	○→	○→	○→	○
突発性発しん	3 0.60	5 0.50	2 0.40		2 0.67	1 0.20	1 0.50	19 0.73	33 0.57	363	○→	○→	○→	○
ヘルパンギーナ											→	→	→	
インフルエンザ	25 3.13	61 4.07	30 3.75	6 2.00	3 0.60	74 9.25	14 3.50	58 1.38	271 2.91	18,545	◎→	◎→	◎→	◎
咽頭結膜熱	4 0.80		1 0.20	2 1.00		2 0.40		11 0.42	20 0.34	186	→	→	○→	レ
流行性角結膜炎		1 0.33	1 1.00					2 0.33	5 0.42	30	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	16 3.20	28 2.80	5 1.00	3 1.50	3 1.00	17 3.40		51 1.96	123 2.12	1,927	◎→	◎→	◎→	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎					2 2.00			4 4.00	1 0.20	7 0.58	99	→	→	→
クラミア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症		2 0.20		1 0.50					3 0.05	300	→	→	→	
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	1	1	4	1						◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向			
	川崎病										【週報の詳報】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansen-center.html			
	不明発疹症													
感染性胃腸炎(ロタウイルス)※			6			5			11	102				

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢群別割合)

報告週	年齢群 (%)	0~4歳 (%)	5~9歳 (%)	10~14歳 (%)	15~19歳 (%)	20~29歳 (%)	30~39歳 (%)	40~49歳 (%)	50~59歳 (%)	60~69歳 (%)	70~79歳 (%)	80歳~ (%)	総数 (人)
2015年 第10週		22.4	40.4	19.1	2.4	2.6	3.9	3.7	2.0	1.3	0.9	1.3	460
第11週		23.4	43.6	16.3	1.6	2.9	5.5	2.9	1.6	1.0	0.8	0.5	381
第12週		17.7	37.0	24.0	2.8	1.9	3.3	3.9	3.6	3.0	1.1	1.7	362
第13週		13.3	36.5	24.7	3.3	1.1	6.3	6.3	2.2	2.2	1.5	2.6	271

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第11週) (国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第5週以降減少が続いている。都道府県別では高知県(10.88)、大分県(8.07)、福井県(7.88)が多い。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は238例と前週と比較して減少した。咽頭結膜熱: 定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別では新潟県(1.07)、山形県(0.90)、富山県(0.83)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 定点当たり報告数は横ばいであったが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別では山形県(6.63)、石川県(6.45)、鳥取県(6.32)が多い。感染性胃腸炎: 定点当たり報告数は第8週以降増加が続いている。都道府県別では大分県(18.64)、佐賀県(14.91)、福井県(13.59)が多い。手足口病: 定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では島根県(2.17)、沖縄県(2.06)、香川県(1.50)、長崎県(1.50)が多い。伝染性紅斑: 定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別では埼玉県(0.93)、石川県(0.90)、宮城県(0.79)が多い。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る): 定点当たり報告数は減少した。42都道府県から191例報告があり、年齢別では0歳(26例)、1~4歳(137例)、5~9歳(26例)、10代(1例)、70歳以上(1例)であった。

* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。()内数字: 定点当たり報告数

今週の全数報告疾病

1類感染症: 報告なし ※男児、女児は6歳未満

2類感染症: 結核

大崎管内 男性2名
仙台管内 女性1名

3類感染症: 報告なし

4類感染症: デング熱

仙台管内 女性1名

5類感染症: 後天性免疫不全症候群

石巻管内 男性1名

侵襲性インフルエンザ菌感染症

仙台管内 女性1名

侵襲性肺炎球菌感染症

石巻管内 男性1名

仙台管内 女性1名(第12週)

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 3例

今週の感染症のコメント

— 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

【伝染性紅斑】

大崎管内で警報継続中。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

インフルエンザ患者より

塩釜管内 第12週採取分 インフルエンザウイルスB 5件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第11週採取分 (3.9~3.15)	第12週採取分 (3.16~3.22)	第13週採取分 (3.23~3.29)
インフルエンザウイルスAH3	1件	0件	0件
パラインフルエンザウイルス4型	0件	1件	0件
ヒトメタニューモウイルス	1件	4件	0件
RSウイルス	3件	0件	1件
アデノウイルス	2件	0件	1件

【感染性胃腸炎】

県全体の患者報告数は減少傾向ですが、基幹定点からのロタウイルスによる感染性胃腸炎の報告がみられます。ロタウイルスは、乳幼児を中心に3月~5月に流行がみられますので、引き続き手洗いの徹底など予防対策に努めてください。

【インフルエンザ】

県全体の患者報告数は減少傾向ですが、石巻管内では患者数が増加し、また保健環境センターでもインフルエンザウイルスB型が検出されていることから、引き続き日常的な予防を心がけてください。